

夫立ち会い分娩時における支援の検討

徳能 真由美, 庄司 聡美, 高橋 聡子
星 和子

はじめに

近年, 女性の高学歴化・初婚年齢の上昇に伴い, 合計特殊出生率は2008年には1.37まで低下した。この少子化に伴って, 一人の子供に対する関心が急速に高まっている。さらに, 人口の都市集中化と核家族化が浸透したため, 夫が妊娠, 分娩, 育児へ参加することが余儀なくされ, 夫の援助の必要性が認識されてきた。日本では1970年代後半にラマーズ法の普及により夫立ち会い分娩が導入され始めた。母子共に安全なことはもちろん, 産婦や夫, 家族が主体的に取り組み, 満足できる分娩が求められている。その選択肢の一つとして, 夫立ち会い分娩がある。夫立ち会い分娩の意義は, 夫婦共に互いに協力しつつ, 出産への不安, 苦痛, 恐怖等乗り越えて, 感動的な出産体験をし, その後の子育ての基本的始発点となると言われている。

それに伴い, ほとんどの出産施設で夫立ち会い分娩が取り入れられており, 当院でも平成元年より夫立ち会い分娩を取り入れている。夫立ち会いの条件は施設により様々であるが, 当院の必要条件は指定されたマタニティクラスを夫婦で受講すること, または異常分娩でないことである。平成20年は分娩件数892件, うち夫立ち会い分娩は234件(26.2%)であった。

分娩介助をさせていただく中で, 夫が立ち会い, 感動し, 涙を浮かべている姿は印象深いものである。しかし, 一方で分娩進行中, 及び分娩時, 夫が自分自身の役割を見出せるような関わりをするよう心がけているが, その後, 夫立ち会い分娩を

終えた夫から感想を聞く機会もたれていない。そのため, 実際に, 自分の関わりが夫にどのように受け止められたか明らかになっていないことが多々ある。そこで, 今回, スタッフの関わりが夫にどのように受け止められているか明らかにし, 日々の支援の根拠としていくことを目的とし, 本研究を行った。

研究対象および方法

研究対象: 2009年8月~9月に夫立ち会い分娩をした夫30名

研究方法: 研究者が中野らの研究¹⁾を参考に, 独自にアンケートを作成した(資料1)。分娩直後から産褥6日目の間に, 研究者が夫に配布し, 夫不在の場合は妻に配布し, 夫に渡してもらい記入してもらった。記入したアンケートはアンケートと共に配布した専用封筒に入れてもらい, アンケート回収ボックスに入れてもらった。

分析方法: 単純集計, 自由記載についてはKJ法による分析。

倫理的配慮: アンケートは無記名で行い, 個人情報保護の保障を説明し, 同意を得られた方を対象とした。また, アンケートは研究終了後, 廃棄した。

用語の定義

夫立ち会い分娩: 夫が分娩第1期から分娩終了までつきそい, 出産の援助を行うこと

結 果

アンケートは35名に配布し, 30名からの回答を得た。回収率は85.7%であった。研究対象者の概要は初産婦の夫: 21名, 経産婦の夫: 9名, 平均年齢28.4歳だった。

資料1. アンケートの内容

アンケート

・あなたの年齢は？
 ()歳

・立会い出席は何回目ですか？
 ()回目

・当夜のマナーディークラス(立会いクラス)は役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった

・立会い出席中のあなたの気持ちはどうでしたか？強く感じた気持ちに1位~8位まで順位をつけてください。
 () ①心配
 () ②不安
 () ③焦り
 () ④イライラ
 () ⑤困惑
 () ⑥光栄感
 () ⑦落ち着いていた
 () ⑧無力感
 () ⑨前向きだった
 () ⑩一生懸命だった
 () ⑪その他

()

・スタッフから腰や肩のマッサージについての声かけがありましたか？
 ・はい・いいえ
 ・はいに○をつけた方に質問です。
 その声かけは役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった
 ・具体的にどのような声かけがありましたか？
 ()

・奥座敷が受ける内診や赤ちゃんの心音の検査などをする際、どうしてその処置が必要なのか説明はありましたか？
 ・はい・いいえ
 ・はいに○をつけた方に質問です。
 その説明は役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった
 ・具体的にどのような説明がありましたか？
 ()

・あなたの休息に対する声かけがありましたか？
 ・はい・いいえ
 ・はいに○をつけた方に質問です。
 その声かけは役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった
 ・具体的にどのような声かけがありましたか？
 ()

・陣痛室から分娩室への移動時、あなたに対する声かけがありましたか？(例 身支度について、どんなことをすればよいか具体的な声かけ等)
 ・はい・いいえ
 ・はいに○をつけた方に質問です。
 その声かけは役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった
 ・具体的にどのような声かけがありましたか？
 ()

・スタッフから呼吸法についての声かけがありましたか？
 ・はい・いいえ
 ・はいに○をつけた方に質問です。
 その声かけは役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった
 ・具体的にどのような声かけがありましたか？
 ()

・スタッフからお産の進み具合に対する説明はありましたか？
 ・はい・いいえ
 ・はいに○をつけた方に質問です。
 その説明は役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった
 ・具体的にどのような説明がありましたか？
 ()

・奥様の診察の時、あなたに対する声かけはありましたか？(例 どこで待っていたらよいか、終了時の声かけ等)
 ・はい・いいえ
 ・はいに○をつけた方に質問です。
 その声かけは役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった
 ・具体的にどのような声かけがありましたか？
 ()

・赤ちゃんが生まれる時、生まれた後、あなたに対する声かけはありましたか？
 ・はい・いいえ
 ・はいに○をつけた方に質問です。
 その声かけは役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった
 ・具体的にどのような声かけがありましたか？
 ()

・カンガルーケアの時、あなたに対する声かけはありましたか？
 ・はい・いいえ
 ・はいに○をつけた方に質問です。
 その声かけは役に立ちましたか？
 ①:とても役に立った
 ②:まあまあ役に立った
 ③:あまり役に立たなかった
 ④:役に立たなかった
 ・具体的にどのような声かけがありましたか？
 ()

ご協力ありがとうございました。

1) 夫立会いの経験回数 (図1)

1回目22名, 2回目5名, 3回目3名であった。

2) スタッフから夫への声かけの有無

スタッフから夫への声かけや説明の有無を, 分娩各期における ① 進行状況 ② 出生時 ③ 診察

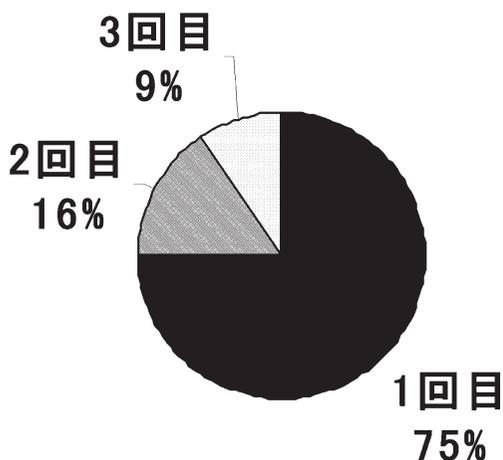


図1. 夫立ち会いの回数

時 ④ 移動時 ⑤ 呼吸法 ⑥ マッサージ ⑦ 処置の必要性 ⑧ カンガルーケア ⑨ 休息の促しの9項目の場面から調査した。その結果, ⑨ 休息の促し以外の場面では, 60%以上声かけや説明はされていたことがわかった。(図2) それぞれの場面への声かけは, とても役立った, まあまあ役立った, あまり役立たなかった, 役立たなかった, の4段階で評価してもらい, 90%以上の夫からスタッフの声かけはとても役立った, まあまあ役立ったとの回答を得た。(図3)

3) 夫立ち会い分娩中の夫の気持ち (図4)

夫立ち会い分娩中の夫の気持ちについて先行研究²⁾を参考に ① 心配 ② 不安 ③ 焦り ④ イライラ ⑤ 困惑 ⑥ 充実感 ⑦ 落ち着いていた ⑧ 無力感 ⑨ 前向きだった ⑩ 一生懸命だった, の10項目を挙げ, 夫の気持ちに当てはまるもの上位3つを選択してもらい, 1位3点, 2位2点, 3位1点とし, 合計し, スコア化した。その結果, 夫が立会い中に持っている気持ちとして

スタッフから夫への声かけの有無

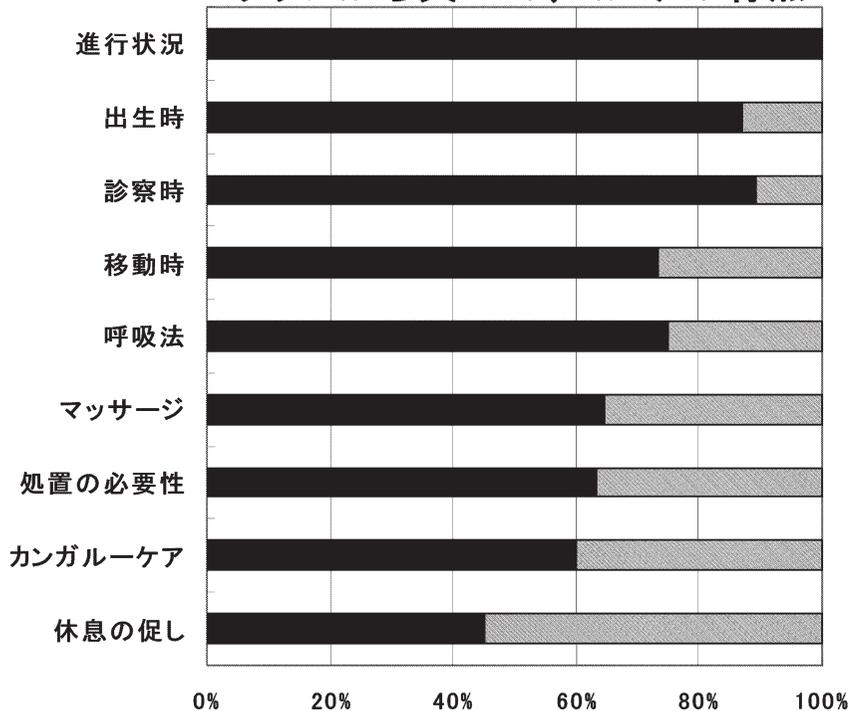


図2. スタッフから夫への声かけの有無

スタッフの声かけの評価

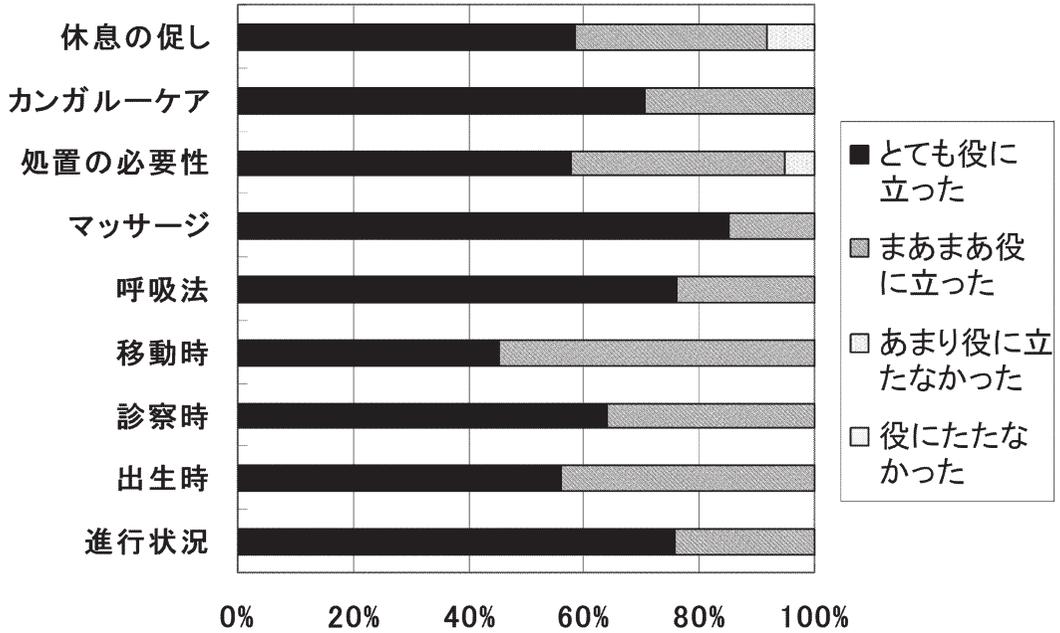


図3. スタッフの声かけの評価

夫立ち会い分娩中の夫の気持ち

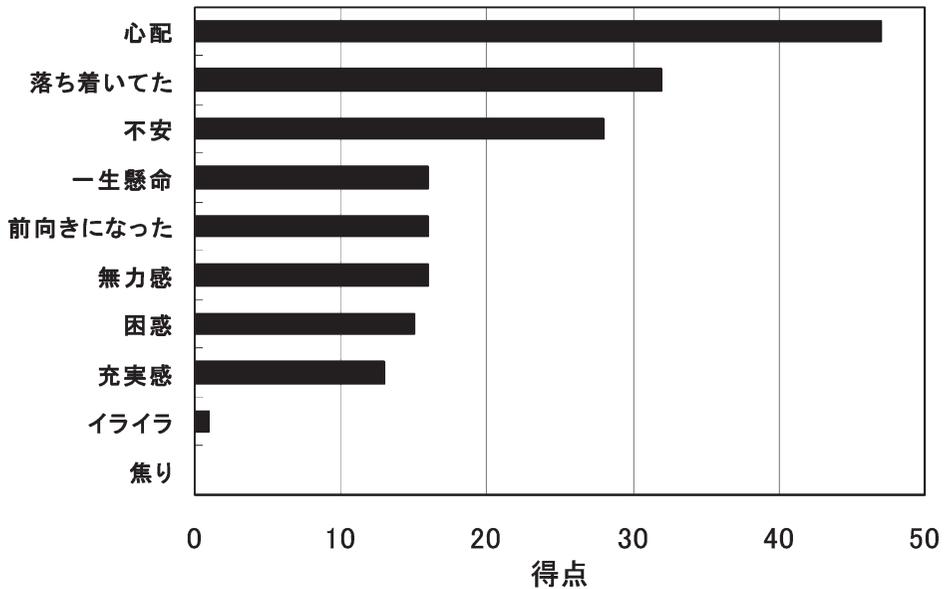


図4. 夫立ち会い分娩中の夫の気持ち

最も多かったものは心配、次いで、落ちついていた、不安、前向きになった、であった。

4) 自由記載で抽出された内容 (表 1)

分娩各期における 9 項目の場面において、実際にどのような声かけがあったか自由記載をしてもらった結果、出生前及び出生時、出生後の内容に分けられた。出生前に共通して言えることは、夫にとって明確で実現可能な声かけがあったということである。

出生時、出生後には兄の誕生という貴重な機会を夫も共有できるような声かけがあったということがわかった。

考 察

1) スタッフから夫への声かけの現状について

質問として「どんな声かけがありましたか?」という聞き方をしているので、より夫の印象や記憶に残った内容が抽出された結果となった。明確で実現可能な声かけのほうが夫の印象に残っていることがわかった。⑨ 休息の促しについての声かけのみ 50% を下回った理由として、分娩が急速に進行し、休息をとるタイミングがなかったこと、分娩所要時間が短時間であり、休息をとる必要性がなかったことがあげられる。

2) 夫立ち会い分娩中の夫の心理について・自由記載で抽出された内容について

夫は立会い中に不安や心配な気持ちを持つ反面、落ち着いた気持ちや前向きな気持ちを持っており、それらが混在した状態で立会いに臨んでいる。不安や心配の気持ちから落ち着いた気持ちや前向きな気持ちになれる手段の一つとして、スタッフから夫への明確で実現可能な声かけがあると考えられる。実際に、「声かけをしていただき出産に立ち会う気持ちに余裕ができました」「気持ちが不安で困惑していたので気持ちの落ち着きになりました」という自由記載もあった。末廣は「夫の心が希望や楽しみであれば、自ずと笑顔や優しい励ましの言葉かけとなり、習得した呼吸法やタッチなどの知識を活用して、産婦の苦痛と恐怖の心を変えることができる」³⁾と述べている。

そのことから、スタッフの明確で実現可能な声かけが夫にとっても、間接的には産婦にとっても重要であると言える。

さらに、自由記載の中に、声かけが「妻へか自分へか分からなかった」という記載があったことから、夫は、自分にむけられたメッセージを求めていることがわかった。そのことから、夫へ明確で実現可能な声かけが必要であることと言える。

出生時、出生後は誕生の瞬間を見せたり、夫にカンガルーケアを促すなど、誕生の瞬間という機会を共有できることが夫にとって貴重な体験となる。実際、「生まれる瞬間に子どもの様子を見るよう指示がありました。貴重な体験ができて感謝しています」という自由記載もあった。末原は、「兄の出生に際しては、母親と兄の対面と同じように、父親にも対面、接触させる必要がある。出生直後から、正当な理由なくして兄を母親から離してならないと同様、父親からも離すべきでない」⁴⁾と述べている。このことから夫にとって誕生の瞬間を共有できるような声かけは重要であるといえる。

3) 望ましい夫に対する支援のあり方について

宮本は「妊娠・出産など身体的な変化をとまなう体験が得られない男性は、実際の育児を通じて初めて父性意識を獲得し、母親とは親性の獲得に時期のズレがあると言われている」⁵⁾と述べている。夫立ち会い出産をし、マッサージ、声かけ等自分の役割を通して出産に参加したという気持ちが、今後育児にスムーズに参加するきっかけとなる。スムーズな育児参加が父性意識の獲得の手助けとなり、母親との親性獲得の時期のズレをなくすことにつながる^{6,7)}。そのことから、出産に参加したと思えるように、夫が役割を見出せるような助産師の関わりが重要となってくる。

結 論

1) 出生前はスタッフから明確で実現可能な声かけが夫に対してなされており、それが気持ちを落ち着かせる手段の一つである。

表 1. 自由記載で抽出された内容

分娩各期の場面	自由記載で抽出された内容	小カテゴリー	大カテゴリー
マッサージ	腰をさする時の力のかけ方 さするのではなく押す	発作時の方法	明確で実現可能な声かけ
	肩をもんであげてください さすってあげてください	間歌時の方法	
呼吸法	ゆっくり、ゆっくり フーフー	具体的な方法	
	妻と合わせて息を吸ったり吐いたりする 早くなりがちだから隣でゆっくりするといい	夫婦が調子を合わせる	
進行状況	子宮口がどのくらい開いてきたか 5 cm とか 10 cm とか	子宮口開大度	
	頭が見えてきました 肩まで出た	児頭娩出	
診察	面会ルームで待っててください 待っている場所の指示	待機する場所の指示	
	声かけをしていただき、出産に立ち会う気持ち に余裕ができました 気持ちが不安で困惑していたので気持ちの落ち 着きになりました	声かけによる気持ちのき りかえ	
処置	元気かどうか 検査後にグラフの見方の説明	児が元気かどうか	
	赤ちゃんが元気か確かめる 分娩室に移るか判断する	なぜ処置をするか	
	逆に説明を受けたかった		
休息	少し休んでくださいね 食事やトイレなど今のうちに行って来てくださ いね	休息の促し	
	短時間だったので休息のタイミング無し 時間がさほど長くなかったので 生まれる 20 分前に分娩室へ入ったため	休息の必要性なし	
移室	荷物を持つのを手伝ってください	間接的関わり	
	前から向かい合って、ゆっくり手を引いて 奥さんの手を握ってたり、うちわを持ってあお いだり	直接的関わり	
出生	元気な男の子ですよ 体の大きさや性別	元気か、性別	誕生の瞬間を共有できる ような声かけ
	生まれる瞬間に子どもの様子を見るよう指示が ありました。見ていいのか？ダメなのか？わか らなかったので声をかけられて見ることができ てよかったです。とても貴重な体験ができて感 謝しています	誕生の瞬間をみせる	
	お父さんも見てください		
	(声かけが) なかったと思う。あったとしても 妻へか自分へかわからなかった。	自分にむけられたメッ セージ	
カンガルーケア	どうしてカンガルーケアをするのか	カンガルーケアの必要性	
	お父さんも抱っこしてあげてください	カンガルーケアの促し	

2) 出生後は誕生の瞬間を共有できるような声かけが夫にとって重要となる。

おわりに

今回の研究においては、対象者が30名であり、夫立ち会い経験回数が2回目、3回目の夫が少なかったため、経験回数での考察まで至らなかった。この点については、今後の課題として挙げていきたい。スタッフの声かけにより、夫は気持ちに落ち着きを取り戻したり、誕生の瞬間を共有できることがわかった。スタッフの関わりが夫にとって良い影響力を持つことを再認識し、今後ますます増加するであろう夫立ち会い分娩の場面において積極的に援助していきたい。

謝 辞

今回の研究を進めるにあたりご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げますとともに、ご指導・ご助言をいただきました皆様に御礼申し上げます。

ます。なお、この研究は第30回宮城母性衛生学会学術集会にて発表を行った。

文 献

- 1) 中野美佳 他：出産体験の満足に関連する要因について。母性衛生 **44**：307-314, 2003
- 2) 中島通子 他：立ち会い分娩後の夫の意識に関する研究。母性衛生 **48**：82-89, 2007
- 3) 小島操子・末原紀美代（監修）：看護のコツと落とし穴4。女性母性看護，中山書店，p48, 2000
- 4) 夏山英一：分娩立ち会い者（夫）へのサポート。ペリネイタルケア **15**：266-267, 1996
- 5) 宮本知子 他：日本における乳幼児期の子どもをもつ父親研究の動向。pp 57-66, 2008
- 6) 森崎聡美 他：夫立ち会い分娩に臨む夫婦への援助の方向性—夫立ち会い分娩でより満足が得られるために。日本ウーマンズヘルス学会誌：104, 2003
- 7) 青野真歩 他：分娩立ち会いが立ち会う夫の感情に与える影響—立ち会い群と非立ち会い群の比較—。母性衛生 **45**：530-539, 2005